

「第4回塩田平の文化財クイズ」出題の文化財に関する解説資料

第1問の正解 長福寺にある国の重要文化財の仏像は、銅造菩薩立像

- 長福寺「信州夢殿」の本尊。アルカイクスマイルを特徴とする、像高36.7cmの小金銅仏で、7世紀後半の白鳳時代の作品と考えられています。
- ⑨ もとは上高井郡小布施町の旧家に伝わるものでしたが、昭和13年(1938)に長福寺に移されました。

※他の選択肢の仏像

- **薬師如来坐像**
塩田では、中禅寺の薬師如来坐像が代表的です。平安時代末期から鎌倉時代初めにかけて造られた国の重要文化財です。
- **大日如来坐像**
安楽寺八角三重塔や前山寺本尊の大日如来坐像があります。
- **阿弥陀如来立像**
西光寺阿弥陀堂にある阿弥陀如来は、三体並んだ阿弥陀如来像です。



第2問の正解 26の札所のうちひらがなで表すと「りゅう」が寺院名に入っているところは4つ

①青龍寺(せいりゅうじ)

柳沢にある元浄土宗の寺です。寛永8年(1631)に開山。現在は地元の方々が管理しています。

②龍光院(りゅうこういん)

東前山にある曹洞宗の寺です。塩田北条氏初代の義政の菩提を弔うため、子の国時が弘安5年(1282)に建てた寺です。

③龍昌院(りゅうしょういん)

保野にある曹洞宗の寺です。元和元年(1615)、真田信之公が開基となって、安楽寺三世が開山。信之公の位牌があったことから、長野市松代の長国寺から分骨を受けて平成22年(2010)境内に墓が建立されました。

④瀧澤寺(りゅうたくじ)

中野にある曹洞宗の寺です。承応3年(1654)龍光院の末寺として開山しました。



青龍寺



龍光院



龍昌院



瀧澤寺

第3問の正解 寺に一時期預けられ、「家に帰りたい」と願って今のところに帰ったのは背長地蔵

- 柳沢にある地蔵像で、持主が屋敷内の地蔵を龍光院に預けました。
- 明治35年(1902)、子孫が蔵を建て替えようとしていた建前の日の明け方、当主の妹の枕元に地蔵が現れ「私は寺に長いこと預けられている。家に連れて帰ってくれ」と告げました。
- そこで地蔵を現在地に遷し、その家で今でもお守りしています。

※他の選択肢の地蔵

- **鉄焼(かなやき)地蔵**
柳沢にある地蔵像で、若い女性が額に焼け火箸を押し付けられた



が、地蔵が身代わりになってくれたいわれがあります。

○ **延命地蔵**

塩田に複数あり、中禅寺の本尊、野倉の別名「赤地蔵」、中野和手、下小島など。

○ **絵堂の地蔵**

五加にある地蔵像で、干ばつの際、川に地蔵を投げ込んで雨乞いをし、雨が降った五加の人たちが安置しました。

第4問の正解 弘法山にある観音像群は西国三十三観音

- 寛政5年(1793)、近畿地方の寺の三十三観音を勧請し、木造の観音像を弘法山に祀りました。
- その後、17体が紛失し、平成元年(1989)に石造の観音を安置しました。
- 残った16体の観音像は前山寺に安置されています。



現存する江戸時代の観音像

※他の選択肢の観音

○ **坂東三十三観音**

舞田の法樹院横の虚空蔵堂に安置されています。文化6年(1809)に関東地方の寺の三十三観音を勧請しました。

○ **秩父三十四観音**

北向観音の境内に安置されています。江戸時代中期の享保年間に勧請されました。

第5問の正解 「末木の薬師」が安置されているお堂があるところは中野

- 昔、独鈷山の沢山の元木沢地籍に柳の大木があり、弘法大師が全国行脚の折、これを霊木として幹(元木)で地蔵尊を彫り、元木沢の岩上に北向きに祀り、末木で薬師如来を彫って、中野の瀧澤寺境内の堂に元木の地蔵と向かい合うように南向きに祀ったという言い伝えがあります。
- 現在は、平成26年(2014)に新築された中野の薬師堂に安置されています。



第6問の正解 国の重要文化財の石造多宝塔があるお寺は常楽寺

- 常楽寺縁起には、「平安初め、地底が揺れ動き火坑が開いて、紫雲が上がり今の北向観音堂境内の桂の木に留まった。そこに金色の観音が見えた。この火坑跡に木造多宝塔を建立。鎌倉期に焼失したので弘長2年(1262)にこの石造塔をつくった」とあります。
- 桂の木に留まった観音が北向観音で、慈覚大師円仁へのお告げで、「我が像を北向きに安置せよ」と言われ、北向観音堂ができたとされています。



第7問の正解 鯉の養殖を最初に始めたため池は上窪池

- 昭和33年(1958)に上窪池で鯉の養殖が始められました。その後、塩田の70の池で飼育されるようになり、昭和40年代・50年代初めは年間千トンもの出荷量を誇り、「塩田鯉」として全国ブランドになりました。しかし、他地域との価格競争などで昭和50年代に衰退し、塩田での生産は終了しました。
- 上窪池の隣にある泥宮には塩田鯉発祥の地の石碑が建っています。碑の表面は常楽寺住職だった半田孝海氏の揮毫、裏面には歌人峯村国一の歌「やまの影 しづめる池に 背をなべて 尾びれの振りも ゆたかなる鯉」が刻まれています。



第8問の正解 塩田城を最も長く治めた武将の一族は福沢氏

- 福沢氏は室町時代に塩田を治めた一族です。坂城村上氏の代官で、建武2年(1335)村上信貞が足利氏から塩田庄を与えられた後、200年ほど塩田を統治しました
- 塩田城の築城や前山寺三重塔建立を行ったと考えられています。
- 天文22年(1553)、昌景の時、塩田城が武田信玄により落とされました。



第9問の正解 衢(ちまた)彦神」と書かれた道祖神は岳の尾の道祖神

- 別所温泉から森林公園に上がっていく林道から岳の尾地区に入っていく道筋にあります。高さは1.6m。
- 「衢彦神」は道祖神で多く祀られている猿田彦神の別名です。猿田彦神は、天孫ニギノミコトが高天原から降臨する際に道案内をした神で、旅の神、道の神とされています。
- 別所には、このほか「八衢神」と彫られた道祖神2基があります。



第10問の正解 「昇高等学校」の校舎として使われたお寺は満願寺

- 明治政府による明治5年(1873)の「学制」公布により全国に学校が造られました。
 - 塩田には、東塩田の習成学校(鈴子)、中塩田の盈進学校(五加)と、西塩田・別所の昇高等学校(山田)が明治6年(1874)にできました。校舎を新築する時間もなく、お寺や商家の建物を利用しました。昇高等学校は山田の満願寺の建物を使用しました。
 - 西塩田では次の年に手塚や新町などが日就学校を、また別所は別所学校を造り、昇高等学校からは抜けています。明治10年(1877)には再度別所と一緒に、明治18年(1885)に山田から別所に移転しています。
- ※なお、クイズの問題で「明治6年から明治9年まで」使われたとありますが、明治18年まで満願寺が使われました。誤りがあり、誠に申し訳ございません。



第4回塩田平の文化財クイズ

○クイズの解答方法 解答用紙に、下記の問題の正答と思う選択肢の番号と氏名などを記入し、箱に入れてください。

塩田まちづくり協議会のホームページからも解答できます。

URL <https://shioda-machidukuri.jp/> 「お知らせ」欄



○解答の期限 2月28日(金)。

○賞品など 参加賞として「信州上田・塩田平かるたカード」を後日贈呈します。また、8問以上の正解者にはさらにカードを5枚、全問正解者には抽選で3名に「塩田平かるた」も差し上げます。

○参考資料 「塩田平ガイドマップ」(塩田公民館及び「とっこ館」で無料で入手できます)

<p>第1問 長福寺にある国の重要文化財の仏像は、次のうちどれでしょうか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 薬師如来坐像 2 銅造菩薩立像 3 大日如来坐像 4 阿弥陀如来立像 	<p>第6問 国の重要文化財である「石造多宝塔」があるお寺は、次のうちどこでしょうか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 常楽寺 2 安楽寺 3 中禅寺 4 前山寺 
<p>第2問 塩田平の26の札所の寺院のうち、ひらがなで表すと「りゅう」が寺院名に入っているところはいくつあるでしょうか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2つ 2 3つ 3 4つ 4 5つ 	<p>第7問 多くのため池で昭和30年代から50年代にかけて行われた鯉の養殖を最初に始めたため池は、次のうちどこでしょうか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幕宮池 2 上窪池 3 甲田池 4 来光寺池 
<p>第3問 寺に一時期預けられ、「家に帰りたい」と願って今のところに帰ったというお地蔵さまは、次のうちどれでしょうか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 鉄焼(かなやき)地蔵 2 延命(えんめい)地蔵 3 絵堂(えどう)の地蔵 4 背長(せなが)地蔵 	<p>第8問 「塩田城跡」は県の史跡であるが、塩田城を戦国時代に最も長く治めた武将の一族は、次のうちどれでしょうか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 真田氏 2 飯富氏 3 福沢氏 4 武田氏 
<p>第4問 弘法山にある観音像群は、次のうちどれでしょうか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 信濃三十三観音 2 坂東三十三観音 3 西国三十三観音 4 秩父三十四観音 	<p>第9問 「衢(ちまた)彦神」と書かれた道祖神は、次のうちどれでしょうか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 岳の尾の道祖神 2 願海の道祖神 3 和手の道祖神 4 穴平の道祖神 
<p>第5問 手塚の無量寺にある「元木の地蔵」と一緒に弘法大師によって彫られたとされる「末木の薬師」が安置されているお堂は、次のうちどこにあるでしょうか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新町 2 十人 3 上本郷 4 中野 	<p>第10問 明治6年(1873)から明治9年まで「昇高等学校」の校舎として使われたお寺は、次のうちどこでしょうか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 青龍寺 2 満願寺 3 法樹院 4 無量寺 